

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。

入院当日は、午前１０時半頃受け付け①で入院受付を済ませ、病棟デイルームでお待ちください。

入院の際は、この用紙を持参してください。

主治医

患者氏名

様

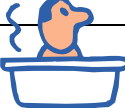
受け持ち看護師

家族等氏名

様

(続柄)

経過 月/日	外来 /	入院日 /	手術前日 /	手術日 /
達成目標	手術や麻酔について、心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えられること。 疾患や手術・麻酔についてご本人も家族も理解できること。		体調を整え手術にのぞめること。	
治療・処置		お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参してください。その際、お薬手帳やお薬の説明書があれば一緒にお持ち下さい。 	手術する部位の毛をそり、お臍の掃除をします。 指示のある方は点滴をします。 眠れない方は、安定剤を内服していただくことができます。看護師にご相談ください。	早朝に便の出る坐薬を入れる場合があります。 弾性ストッキングをはいていただきます。 点滴を始め、手術着に着替えます。 車椅子または移動用のベッドで手術に行きます。 麻酔科医師の指示により、必要な薬を飲んでいただくことがあります。
検査	胸部X線写真や呼吸機能・心電図・CT・胃力メウなどの検査があります。 血液検査をします。 尿検査をします。 			
食事		食事の可能な方は普通食です。	食事の可能な方は、夕食まで食べられます。 水分（水のみ）は当日朝までおとりいただけます。	食事は食べられません。指示のあった時間までに経口補水液の指示のある方は飲んでください。お水も指示の時間まで飲んでてもかまいません。 うがい・歯磨きはできます。
排泄				手術前にトイレを済ませておいてください。
安静度		院内でお過ごしください。	院内でお過ごしください。	病室内でお過ごしください。
清潔	爪の長い方は爪を切ってください。 マニキュアは落としてください。	入浴することができます。 必要な方には看護師がお手伝いします。 	除毛、お臍の掃除が済んでから、入浴・お臍の処置をしていただきます。 必要な方には看護師がお手伝いします。	お化粧はしないでください。 手術前に歯磨きをしてください。 長髪の方は左右に結んでください。 手術前に下記のものはお取りください。 【湿布・義歯・化粧・コンタクトレンズ・金属類・ウィック・磁気貼付剤・補聴器・マニキュア】 
説明	医師から入院、手術、治療についての説明があります。（別紙参照） 看護師から入院の準備について説明があります。 手術前に麻酔科に受診し、麻酔の説明を受けます。（ご家族の方も一緒に説明を聞いていただきます。お薬手帳やお薬の説明書をお持ちください。） 手術までに準備していただくもの ・タオル・ハンドタオル数枚ずつ ・前開きシャツ（必要な方は準備してください） ・腹帯数枚（売店でも購入いただけます） ・水のみ（病棟でも貸し出ししています）	担当看護師がお話を伺います。 看護師から入院中のこと、手術前の経過、処置、手術後の食事について説明があります。 入院や手術について心配なことがありましたら、担当看護師にお話してください。 主治医から、本人・ご家族へ入院・手術・治療に関する説明があります。  	 	貴重品はご家族にあずけてください。

経過	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2～3日	術後4～5日	術後6日～8日	術後9日～退院
月／日	／	／	／	／ ～ ／	／ ～ ／	／ ～ ／
達成目標	術後の痛みや不快を伝えられること。	看護師の付き添いのもとで歩行ができること。 水分をとっても異常がおこらないこと。		食事のとり方が理解でき、順調に食事形態がすすめられること。		退院後の生活について不安なことを主治医や看護師に伝えられること。 異常時の受診方法を理解できること。
治療・処置	点滴・酸素マスクをします。 傷口に排液用の管が入ってきます。 ・鼻から管が、背中に痛み止めの管が入ってきます。 ・ドレーン（お腹にたまった血液などを外に出す管）が入ってきます。 ・痛いときは痛み止めをしますので遠慮なくおっしゃってください。 ・熱があるときは解熱薬を使うことがあります。 ・心電図モニターなどが付きます ・ガーゼを交換します ・看護師が伺い、血圧・体温・観察をします。 		回診時、傷口の観察を行います。 	回診時、傷口の観察を行います。 背中の痛み止めの管を抜きます。 尿の管を抜きます。	抜糸をします。  ドレーン（お腹にたまった血液などを外に出す管）を抜きます。 	
検査		血液検査をします。 腹と胸のレントゲン検査があります。 				
食事	食べたり飲んだりできません。 		医師の許可が出たら水分をとることができます。お腹の痛み、吐き気がなければ次の日以降から食事が始まります。 （流動食→3分粥→5分粥→7分粥→全粥） 			
排泄	手術後は尿を出す管が入ってきます。術当日、排便時は看護師の介助でベッド上で便器を使用します。術後1日目以降は、可能ならトイレ歩行して頂けます。		尿を出す管を抜きます。			
安静度	ベッド上で安静にお過ごしください。 体の向きを変えることができます。 	看護師の付き添いのもと立ち上がることから歩行までできます。 		病院内でお過ごしください。 		
清潔	麻酔が覚めたらうがいができます。 看護師が洗面をお手伝いします。	体を拭くことができます。 看護師が体を拭くお手伝いをいたします。 			ドレーン（お腹にたまった血液などを外に出す管）が抜けて、医師の許可が出たら、入浴できます。	
説明	主治医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります。		水分開始になったら、栄養士より食事指導があります。	全粥になったら栄養士より食事指導があります。 必ず食事を作る人と一緒に受けてください。		退院後の生活について説明があります（別紙） 看護師が次回の外来受診について説明します。 退院時間は午前10時の予定です。 概算額は、部分切除の場合…1割負担の方：6万円、3割負担の方：35万円です。全摘術の場合…1割負担の方：6万円、3割負担の方：40万円です。3番窓口でお支払い下さい。3割負担の方は、高額療養費の申請により、負担額を10～15万円に減らすことができます。詳しくは窓口までお尋ね下さい。